

カナダ航空局に対する安全勧告

(2010. 8. 27 安全勧告)

(JA847C 種子島空港の北北西約 6km付近上空 2009. 3. 25 発生重大インシデント)

運輸安全委員会は、本重大インシデントの発生に鑑み、カナダ航空局 (T C C A) に対し、次のことについて検討し、必要な処置を講ずることを勧告する。

- (1) エンジンのRGBヘリカル・インプット・ギアシャフトの製造時における不純物の混入により本重大インシデントが発生したことを踏まえ、P & WC社は、RGBヘリカル・インプット・ギアシャフトの製造について、部材供給者及び部品製造者を含む全社的な品質管理の改善を図る必要がある。
- (2) P & WC社はリスクの重大度をIFSDが発生したことのみを評価し、Significant-Level 3としているが、本重大インシデントでは、IFSDに加え、停止エンジン側のプロペラのフェザリング・システムの全機能が不作動となった。

本重大インシデントのリスク評価は、IFSDが発生したエンジン単体ではなく、航空機全体の安全性から再評価する必要がある、その結果により、必要があれば、安全上の措置を講じるべきである。